場所　鳥取県西伯郡伯耆町

面積　2.2755ha

活動目的　大成池は今後も農業用ため池として利用を続けながら水辺の生態系ネットワークを形成し続け、多様な生息環境の保全を目的とする。また、その周辺に関しては地域住民の憩いの場であるとともに環境教育の場とすることを目的とする

サイト概要

サイトの大成池は貯水量37,600トンを有し、湧出する大山の伏流水を水源とする豊富で安定したかんがい用水として利用されている。大山を望み、アカマツ壮齢林に囲まれた静観で美しい景観と自然環境が保持され、294戸の別荘の建設、82戸170名の移住定住にも結びついている。

大成池は大部分が開放水面からなり、一部ヤナギ低木林、ヨシ群落が成立している。大成池周辺の公園は植栽由来の人工草地である。

申請地周辺の住宅地は50～60年生のアカマツ高木からなるアカマツ群落が大部分を占めている。

大成池周辺には同規模のため池が点在していて、日野川を中心とした水辺の生物ネットワークを形成していると考えられる。

土地利用の変遷

1940年代から2000年代の過去の空中写真によると、申請サイトの大成池に変化はないが、ロイヤルシティ大山リゾート全域では、1940 年代では、西半分は草原あるいは荒れ地状で、東半分はアカマツの低木林が分布している。北側は一部を残し草原状であった。
1960 ～70年代では、西半分の荒れ地状だった場所はアカマツが植栽され、草原状の部分のほとんどが樹林となっている。
現代では、宅地が造成され、樹木も生長し、1 本1 本の林冠がはっきりしてきている。

サイト周辺の環境

サイトは大山隠岐国立公園の普通地域内に位置し、特別保護区までは約3.5kmの距離である。サイトは50～60年生のアカマツからなるアカマツ群落が形成されるロイヤルシティ大山リゾート敷地内にあり、西側に水田、東側に牧草地や牧場、ゴルフ場の草地環境なども存在している。

アピールポイント

・大山隠岐国立公園の普通地域内に位置し、大山隠岐国立公園保護区との連結性が高い。

・一級河川日野川周辺には大成池と同規模のため池が複数存在しており、日野川を中心とした水辺ネットワークが成立していると考えられる。

・農林水産省のため池100選に大成池が選定されている。

生物多様性の価値

価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

【場の概況】

サイトの大成池は貯水量37,600トンを有し、湧出する大山の伏流水を水源とする豊富で安定したかんがい用水として利用されている。また、大山を望み、アカマツ壮齢林に囲まれた静観で美しい景観と自然環境が保持され、294戸の別荘の建設、82戸170名の移住定住にも結びついている。また、大成池周辺には同規模のため池が点在していて、日野川を中心とした水辺の生物ネットワークを形成していると考えられる。

【主な植生】

大成池は大部分が開放水面からなり、一部ヤナギ低木林、ヨシ群落が成立している。大成池周辺の公園は植栽由来の人工草地である。申請地周辺の住宅地は50～60年生のアカマツ高木からなるアカマツ群落が大部分を占めている。

【確認された主な動植物など】

植物：フユノハナワラビ、ノキシノブ、サルトリイバラ、イグサ、ヨシ
鳥類：マガモ、カルガモ、ホシハジロ、バン、オオバン
魚類：ドンコ
昆虫：オオアオイトトンボ、キトンボ、ナツアカネ、マツタテアカネ
底生動物：ナミウズムシ、シマイシビル

写真の説明：大成池

写真の説明：ホシハジロ

生物多様性の価値

価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

【場の概況】

大成池は大部分が開放水面からなり、一部ヤナギ低木林、ヨシ群落が成立している。大成池周辺の公園は植栽由来の人工草地である。今回確認された希少種の多くはヨシ群落やその周辺で確認された。

【確認された希少種】

種として、植物１種、両生類２種、昆虫類6種、底生動物1種の生息・生育が確認されている。

写真の説明：

写真の説明：

サイトの活動計画・モニタリング計画

活動計画の内容

対象		管理方法など
管理	公園で生育する外来植物の防除	**対象種** セイタカアワダチソウ、メリケンカルカヤ、ヒイラギナンテン、オオキンケイギク **方法** 日常管理の草刈りや点検の際、見つけた個体の抜き取りを実施する。抜き取りが困難な大きさに生育した個体や広範囲に面的に生育する場合は根際から刈払い機による刈取りを実施する。 また、オオキンケイギクやセイタカアワダチソウのように識別が容易なものは、住民との協働で抜き取りを行う。 なお、大成池に生育する外来植物のコカナダモは水生生物の隠れ場になっていると考えられるため、刈取りなどの対象としない。 **実施時期** 春から秋にかけて実施する。
	大成池の外来魚防除	**対象種** コイ(飼育型)、ニジマス **方法** 新規の放流を禁止するとともに、外来生物の放流、放逐を禁止する看板を設置する。 外来生物に関する住民への普及啓発のためのニジマス釣り大会の実施によるニジマスの除去について検討する。 **実施時期** 適宜実施する。
	水辺の多様性の向上	**対象種** ヨシ **方法** ヨシ群落を対象に刈取りを行い、集草後、大成池外に搬出・処分するか、後述するBee Hotelの資材として活用する。 **実施時期** ヨシの新芽が芽吹く前の時期、3～4月に実施する。
		対象種 タチヤナギなどのヤナギ類、その他の水際に生育する植物 **方法** 景観上問題となる大きさや面積になった場合、枝打ちや抜き取り、伐採を実施する。 **実施時期** 適宜実施する。
		対象種 大成池に生育・生息する種 **方法** 部分的な浚渫を実施について、土砂等の堆積や富栄養化が認められた場合や、モニタリング調査により水質変化が要因と考えられる生物多様性の減少が認められた場合に検討する。 **実施時期** 適宜実施する。
普及啓発	生物多様性普及啓発	**活動1** 住民向けの勉強会の開催 **内容** ロイヤルシティ大山リゾートでの生物多様性に関する取り組みについて住民向けの勉強会と現地視察会を実施する。 **実施時期** 春または秋の季節の穏やかな時期
		活動2 観察会の開催 **内容** モリアオガエルとヘイケボタルなどを対象とした住民向け観察会を年2回程度実施する。 **実施時期** 6月下旬から7月上旬など対象に合わせた時期
		活動3 住民との協働で行う生物多様性向上のための仕組みづくり **内容** 例えばBee Hotel(ビーホテル)の設置など。 近年ハナバチ類を中心とした送粉者は環境悪化等で世界的に減少しており、竹やヨシなどの管に営巣するハナバチなどの送粉者のためにタケやヨシを束ねたBee Hotelと呼ばれる営巣場所を設置することで、ハチ類の個体群の維持や増加に貢献することが知られている。 このような誰でも参加できるような生物多様性向上のための取組を住民と一緒に行っていく企画を検討し、実施する。 **実施時期** 企画に合わせて適宜実施する。

モニタリング計画の内容

【モニタリング対象】

モリアオガエルなど（住民・管理者によるモニタリング）、カモ類（専門家・住民によるモニタリング）・トンボ類（専門家によるモニタリング）
外来種（オオキンケイギク、セイタカアワダチソウ）

【モニタリング場所】

大成池と隣接公園

【モニタリング手法】

モリアオガエルなど（観察会の実施とモリアオガエルの泡で包まれた卵塊個数などのカウント）、カモ類・トンボ類（カモ類は大成池の定点調査、トンボ類は大成池でのラインセンサス調査）、外来植物（除去重量記録）

【モニタリングの実施時期及び頻度】

初夏（１回）；秋（トンボ類成虫対象　1回）；冬（カモ類対象　1回）；専門家による動植物調査（5年に1度の四季調査）

【モニタリング実施体制】

活動実施：大和ハウス工業株式会社、株式会社地域環境計画
モニタリング：大和ハウス工業株式会社、株式会社地域環境計画